



輸出統計品目	2918. 11-100
輸入統計品目	2918. 11-000

#### 4. 応急措置

皮膚に付着した場合	製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。
眼に入った場合	清浄な水で最低 15 分間目を洗浄したのち直ちに医師の手当を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、直ちにはずす。すみやかに空気の新鮮な場所へ出る。その後医師の手当を受ける。
吸入した場合	多量の水、または食塩水を飲ませて、すみやかに医師の手当を受ける。
誤飲した場合	

#### 5. 火災時の措置

消火剤	粉末(ABC)消火器、泡消火器
火災時の特定危険有害性	通常では着火しない。
特定の消火方法	火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	化学用保護メガネ、ゴム長靴、保護手袋を着用する。
環境に対する注意事項	生分解性があるが、酸性物質であるので、河川等への流出を避ける。
除去方法	炭酸ナトリウムまたは炭酸水素ナトリウムで中和した後、砂またはケイソウ土で吸収し、処理用の密閉容器に入れる。少量の場合は、多量の水で洗い流す。廃液は適切に処理する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	酸性の刺激性液体であるので、保護具を着用し、皮膚等につかないよう注意する。
注意事項	特に無し
安全取扱い注意事項	酸性物質であるので、アルカリ性物質との接触には注意する。
保管	
適切な保管条件	遮光した気密容器にて、常温で保管する。 強塩基からは離しておく。
安全な容器包装材料	ポリエチレン、又は SUS-316L 以上の材質

#### 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	保護メガネ、保護手袋(ゴム製等)、作業衣、保護面

#### 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	
性状	無色透明な粘性の液体で、においがないか、又はわずかに不快でないにおいがあり、酸味がある。
p H	1 以下
物理的状態が変化する特定の温度	
沸点	119°C (1.6 kPa, 100%)
融点	53°C (100%)
引火点	無し
爆発特性	該当せず
比重	$d_{20}^{20}$ 1.120～1.130
粘度	$4.68 \times 10^{-3}$ Pa·s (25°C, 54.9%)
溶解性	
溶媒に対する溶解性	水、アルコールに混和
オクタノール／水分配係数	$\log P_{ow} = -0.6$

金属腐食性

無 (SS400 鋼片、6.23 mm/年)

#### 1 0. 安定性及び反応性

安定性

安定性あり

反応性

アルカリと反応し、中和熱を発する。

避けるべき条件

裸火、過熱、日光

混触危険物質

強アルカリ

危険有害な分解生成物

一酸化炭素

#### 1 1. 有害性情報

急性毒性

LD<sub>50</sub> 4875 mg/kg (マウス 経口)

LD<sub>50</sub> 3730 mg/kg (ラット 経口)  
(いずれも乳酸 100%として)

局所効果

データ無し

変異原性

細菌を用いる変異原性試験で陰性

刺激性

500 mg/24hr sev. (ウサギ skn)

750 μg sev. (ウサギ eye)

750 μg/24hr sev. (ウサギ eye)  
(いずれも乳酸 100%として)

ウサギの皮膚に対し強度の刺激性あり  
(乳酸 90%)

皮膚腐食性

有

#### 1 2. 環境影響情報

残留性／分解性

分解性良好

その他

COD(Mn) 0.13 g/g

BOD 0.37 g/g

#### 1 3. 廃棄上の注意

廃棄する場合は焼却によって行い、方法は次のいずれかによる。

- ・ケイソウ土等に吸収させて、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
- ・焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。

#### 1 4. 輸送上の注意

国際規制

特に無し

その他

- ・車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書きを交付する。
- ・運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

#### 1 5. 適用法令

海洋汚染防止法

有害液体物質 (令別表第1 Z類物質)

食品衛生法

食品添加物

#### 1 6. その他の情報

##### 【引用・参考文献】

- 1) The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II; Robert E. Lenga
- 2) 危険物防災救急要覧 神戸海難防止研究会・編 成山堂
- 3) 化学大辞典 共立出版
- 4) Lactic Acid; C. H. Holten, Verlag Chemie
- 5) 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版 第4集(第2集改訂版) 化学工業日報社
- 6) 社内資料
- 7) WHO Food Additives Series No.5, 1974
- 8) 変異原と毒性 5(6)579-587 (1982)
- 9) 通産省公報 平成5年12月28日
- 10) 厚生労働省及び環境省による分類結果 (GHSに関する)

**【問い合わせ先】**

・記載内容の問い合わせ先  
株式会社武蔵野化学研究所  
営業本部  
電話番号 03-6810-0242  
FAX 番号 03-6810-0148

・運送中の問い合わせ先  
株式会社武蔵野化学研究所  
磯原工場 業務部  
電話番号 0293-42-1147(代)  
FAX 番号 0293-42-1185

当データシートは、現時点での入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、充分ご注意下さい。